



9月11日は警察相談の日。 「110」と「#9110」の違いは?

■電話番号「110」と「#9110」。 何が違うの?

例えば、路上でケンカが起こり殴り合いしているような緊急をようする事件が起こった場合の電話番号は?

あるいは交差点で自動車事故が起こった場合の電話番号は?

そうですね。

警察への電話番号「110」番ですね。

「110番」は、起こった事件、事故に対し今すぐ警察官に駆けつけてもらう緊急通報用電話です。

ところで、このような犯罪、事故に至っていないストーカー、家庭内暴力、悪質商法など、生活の安全を脅かすことなどを警察に相談したいことがあるときにはどうしたらよいのでしょうか?

そこで、このようなことに対処するために警察庁が1999年(平成11年)にもうひとつの警察への電話相談番号「#9110」制定しました。

「#9110」に電話すると警視庁と各道府県警察

本部に設置されている総合相談室につながり、一年中、各種事件に関する困りごとなどの相談を受け付けています。

■相談したらどうなるの?

相談業務を専門に担当する「警察安全相談員」などの職員(警察官、元警察官等)が、相談者のプライバシーの保護や心情・境遇などに配慮しながら相談に対応しています。

相談者や相談内容によって、例えば、お子さんのことで悩みを抱えているご家族やいじめ、犯罪等の被害に遭い、悩んでいる場合は少年を対象とした警察に設置された少年相談窓口を開設しています。

性犯罪被害者が相談しやすくするために性犯罪被害相談電話全国共通番号「#8103(ハートさん)」にダイヤルすると発信された地域を管轄する性犯罪被害相談電話窓口につながります。別の専用相談窓口を紹介する方が最適と判断したものについては、法テラス・消費生活センター、児童相談所や女性相談所などの専門の機関への引き継ぎや紹介をしています。



いろいろな 「#9110」の相談内容

●犯罪被害防止相談

・相談による解決事例

◆ケース1

犯罪などによる被害防止に関する相談。

(女性・10代)

【相談内容】

下校途中に見知らぬ男にいつも見つめられて不安を感じる。

【警察の対応】

- ・相談者に防犯ブザーを貸与するなどの措置。
- ・相談者の自宅付近や通学路の徹底的な警戒活動を実施。
- ・類似する男を発見、迷惑防止条例違反の被疑者として検挙。

◆ケース2

オレオレ詐欺被害防止に関する相談。

(女性・70代)

【相談内容】

孫をかたる男から家に来るとい電話がかかってきたが、本当の孫の声ではなかった。

【警察の対応】

オレオレ詐欺の電話と認め、相談者の協力を得てたまされた振り作戦を実施。

- ・相談者の自宅付近をうろついている男らを発見し、職務質問を実施したところ、「受け子」であることが判明。
- ・男らを詐欺未遂罪で検挙。

◆ケース3

配偶者からの暴力に関する相談 (女性・20代)

【相談内容】

夫から暴力を受けたので助けてほしい。

【警察の対応】

- ・事情聴取を行ったところ、相談者の生命又は身体に危害が及ぶおそれがあると認め、女性相談所と連携し、相談者を民間シェルターに避難させ安全を確保。
- ・相談者の夫を傷害罪で検挙。

警察相談専用電話

「#9110」
(シャープ きゅう いち いち まる)

参考・引用：政府広報オンライン
暮らしに役立つ情報より

あなたも30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



ワクチンを予防接種するとは？

■ワクチンとは何？

例えば一度「おたふくかぜ」にかかって直ると、もう二度とおたふくかぜにかからない」とよく聞かれます。

これを「おたふくかぜに対して免疫を持っている」といいます。

「免疫」とは字義とおりに「疫(やまい)」から「免れる」ということを意味しています。

そこで、健康な時に、あらかじめ免疫を体の中に生じさせる「種(たね)」を作って、それを注射して、その病気に対する免疫力を造るのを「ワクチン」といいます。

■ワクチンを予防接種するとは？

予防接種とは、感染症の原因となるウイルスをなくしたり弱めたりした「種(たね)」を接種することで、その病気に対する免疫を獲得して予防するための手段です。

免疫を身につければ、その病気にかかりにくくなり、また、病気にかかってしまっても重症になることを防ぐことができます。

■予防接種は自分と他人を守る

予防接種は自分を守るだけでなく、周囲の人への感染を防いで、病気が流行することを防ぐこともできます。

今、流行している新型コロナウイルスもワクチンが開発され、接種できるようになったら感染症の風しん、結核、ジフテリア、破傷風、日本脳炎などと同じように新型コロナウイルスを予防できるようになります。

開発が待たれているのがすべての人の願いですね。

■予防接種は、いつ受ければいいのか？

予防接種は病気ごとに接種の対象となる年齢などの条件が定められていて、市区町村などから連絡があって受けます。

予防接種の費用は無料、あるいは一部負担で接種を受けることができます。

予防接種の対象となる病気や年齢は次頁の表のようになります。

あなたも30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



ワクチン対象の病気 ワクチン接種前後の注意点

主な対象病気	対象者
ジフテリア・百日せき・ ポリオ・破傷風	第1期：生後3月から生後90月に至るまで
	第2期：11歳以上13歳未満(第2期はジフテリア・破傷風のみ)
麻しん・風しん	第1期：生後12月から生後24月に至るまで
	第2期：5歳以上7歳未満のうち、就学前1年
日本脳炎	第1期：生後6月から生後90月に至るまで
	第2期：9歳以上13歳未満
結核	生後1歳に至るまで
肺炎球菌感染症(小児)	生後2月から生後60カ月に至るまで
水ぼうそう(水痘)	生後12月から生後36カ月に至るまで
B型肝炎	生後1歳に至るまで
インフルエンザ	65歳以上の者
肺炎球菌感染症(高齢者)	65歳の者

■ 予防接種を前後の注意点

予防接種を受ける前には体調など健康状態によく気を配ります。体調に気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけの医師に相談しましょう。

予防接種を受けた後に副反応が出たときはすぐに医師に相談をしましょう。特に、予防接種を受けた当日は、次のことに気をつけましょう。

接種後30分くらいは、接種した医療機関の中で様子を見るか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。

帰宅後も、激しく体を動かすことは避けさせましょう。接種部位は清潔に保ちましょう。